

# 令和4年度事業報告

(自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日)

年月日	事業名	開催場所	摘 要
令 4. 5. 23	役員等候補者選出委員会	学士会館	<p>第4回役員等候補者選出委員会（令和4年6月期候補者選出）を開催。 出席者：役員等候補者選出委員会委員5名中、全員が出席 （祖父江和夫氏、手島康博氏、早野敏美氏、持田二郎氏、八島恵子氏） 互選により議長に祖父江和夫氏を選出する。</p> <p>祖父江氏が議長席につき、事務局から、本委員会委員5名中、本日の出席委員が5名であることの報告を受けた後、本委員会規程第5条により、本委員会が有効に成立したことを述べた。続いて、本委員会規程第9条により出席した議長及び委員が議事録に記名、捺印しなければならない旨を説明し、了承を得た。</p> <p>[審議事項]</p> <p>議長から、令和4年6月22日開催予定の定時評議員会終了をもって、評議員6名の辞任に伴う後任評議員6名、理事14名の任期満了に伴う後任理事(再任を含む)14名の候補者を選任するとの趣旨説明があった。</p> <p>(1) 役員等候補者について説明 議長の指示を受けて、事務局より今回の審議対象となる役員等候補者について説明がなされた。</p> <p>(2) 評議員会への提案の適否の議決 議長は候補者一人ひとりについて評議員会への提案の適否の議決を行った。</p> <p>議決の結果、評議員6名、理事14名のそれぞれについて、議長を除く出席委員の過半数の同意を得たので、本委員会規程第6条により、下記のとおり評議員会に改選役員候補として提案することを承認した。</p> <p>(3) 評議員会に提案する候補者名簿の確認 議長が、決議内容を取りまとめた選出候補者名簿を評議員会に提示することを宣して、第4回役員等候補者選出委員会を閉会とした。</p> <p>[評議員候補] (五十音順) 井出育夫氏 (中部電力パワーグリッド株式会社) 上間功也氏 (一般社団法人 電気通信協会) 荻田恭之氏 (関西電力送配電株式会社) 寺西裕之氏 (三菱電機株式会社) 松尾智弘氏 (株式会社 安川電機) 横山清志氏 (東京電力ホールディングス株式会社)</p> <p>[理事候補] (五十音順) 加藤 修氏 (東日本旅客鉄道株式会社) 川上景一氏 (一般社団法人 電子情報技術産業協会) 衣川裕司氏 (東武鉄道株式会社) 寒川哲臣氏 (日本電信電話株式会社) 高本 学氏 (一般社団法人 日本電機工業会) 坪井 裕氏 (株式会社 島津製作所) 富岡義博氏 (電気事業連合会) 日高邦彦氏 (東京電機大学) 平栗健二氏 (東京電機大学)</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			古澤 宏氏（一般社団法人 日本電気協会） 松井利行氏（公益財団法人 電気科学技術奨励会） 丸山 茂氏（本田技研工業株式会社） 村上和夫氏（株式会社オーム社） 横山明彦氏（公益財団法人電気科学技術奨励会）
令 4. 6. 7	理事会 (第 1 回)	学士会館	令和 4 年度第 1 回理事会を開催。 出席者：理事総数 14 名中、出席理事 13 名（日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、梶原滋正氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、平栗健二氏、古澤 宏氏、村上和夫氏、吉野泰宏氏、松井利行氏） 欠席理事 1 名（安田一成氏） 出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏） 出席顧問 1 名（早野敏美氏） 理事会議長として横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 3 年度第 3 回理事会（令和 4 年 3 月 9 日開催）の議事録を確認した。 [議事] ・審議事項 1 令和 3 年度事業報告（案）承認の件 令和 3 年度事業報告（案）を承認。 ・審議事項 2 令和 3 年度計算書類等（案）承認の件 令和 3 年度計算書類等（案）を承認。 ・審議事項 3 定時評議員会の招集の件 以下の定時評議員会招集を承認。 (1) 日時：令和 4 年 6 月 22 日(水) 14:30～15:30 (2) 場所：学士会館 210 号室（東京都千代田区神田錦町 3-28） (3) 目的である事項等 i) 令和 3 年度事業報告承認の件 ii) 令和 3 年度計算書類等承認の件 iii) 役員等候補者選出委員会を踏まえての評議員・理事選任の件 iv) 令和 5 年度以降の役員等候補者選出手続きについて ただし、本審議事項承認後、審議事項 5 の審議結果（後述）により、令和 5 年度以降の役員等候補者選出手続きが継続審議となったため、令和 4 年度定時評議員会では、iv) は議題とはしないことになった。 ・審議事項 4 役員等候補者選出委員会による審議の件 第 4 回役員等候補者選出委員会（5 月 23 日開催）による評議員候補 6 名、理事候補 14 名の判定結果について、審議・了承された。 ・審議事項 5 令和 5 年度以降の役員等候補者選出手続きについて 事務局から、役員等候補者の選出について、これまでの動きを報告。 (1) 令和 3 年 6 月期の改選の際、役員等候補者選出委員会による審査結果を審議する令和 3 年度第 1 回理事会（令和 3 年 6 月 9 日開催）において、役員等候補者の選出についてガバナンスの問題が生じないよう、今一度吟味することになった。 (2) 令和 3 年 9 月、役員等候補者選出手続き及び役員等候補者選出委員会規程について、事務局から公益法人協会に問合せを行ったところ、回答者からは、多くの修正すべき点があり、一度、内閣府に相談した方がよいとの助

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>言をいただいた。</p> <p>(3) 令和4年1月13日、事務局が内閣府に伺い、担当官に役員等候補者選出手続きについてご相談申し上げたところ、以下の回答を得た。</p> <p>[内閣府担当官によるご回答]</p> <p>○内閣府が、平成30年12月3日の立入検査時に、役員等候補者選出委員会の設置を指示した記録はない。</p> <p>○役員等候補者選出委員会を継続する必要はない。むしろ、貴会の現状からすれば、費用及び手間のかかる本委員会は、やめた方がよい。</p> <p>以上の報告の後、事務局より、内閣府の指示どおり、役員等候補者選出委員会を廃止し、令和5年度以降は、評議員会で候補者を1名1名審議し、選任する手続きとすることが提案された。</p> <p>慎重審議の結果、本件は継続審議とし、以下の点について整理・検討したうえで再提案することとなった。</p> <p>(整理・検討すべき事項)</p> <p>○内閣府からの指示（平成30年12月3日の立入検査、及び、令和4年1月13日の相談）と当法人の対応（役員等候補者選出委員会の設置、及び、今回の廃止提案）に齟齬がないことを確認する。</p> <p>○上記事項について確認のうえ、改めて、役員等候補者の選出手続きを明確にする。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告</p> <p>定款第27条、及び法人法第90条、第197条により、職務の執行状況の報告が義務付けられていることに鑑み、令和4年3月～令和4年5月の執行状況について報告。併せて、代表理事、業務執行理事、事務局長の意見交換が随時行われていることを報告した。</p>
令4.6.22	評議員会	学士会館	<p>令和4年度定時評議員会（令和3年度決算書類の承認）を開催。</p> <p>出席者：評議員19名中、出席評議員12名（石田 明氏、太田光昭氏、大淵一央氏、沖谷 彰氏、北島尚史氏、佐々木昭悟氏、佐藤 晃氏、篠原郁二氏、祖父江和夫氏、福山満由美氏、吉岡靖浩氏、吉田 隆氏）</p> <p>他に、当法人監事・仲田一元氏が監査報告人、代表理事（会長）・日高邦彦氏、代表理事（理事長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。</p> <p>欠席評議員7名（軸屋尚久氏、中田智仁氏、樋口達也氏、福田 守氏、松本袈裟文氏、三戸雅隆氏、向井 稔氏）</p> <p>議長に祖父江和夫氏を選出する。本評議員会の議決は定足数（評議員の過半数）を満たしていることを確認した後、議事録署名人として、大淵一央氏、吉岡靖浩氏を指名した。</p> <p>議事に先立ち、令和3年度定時評議員会議事録（令和3年6月24日開催）を確認した。</p> <p>[議事]</p> <p>・審議事項1 令和3年度事業報告承認の件</p> <p>専務理事から、令和3年度事業報告のポイント（第69回電気科学技術奨励賞の選定並びに贈呈式、第59回電気科学技術講演会）についてそれぞれ説明。その他の活動として、電気科学技術奨励賞分類部会を開催したほか、媒体の特長（Webサイトの迅速性、印刷媒体の品質・閲覧性）を活かした</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>情報発信に努めたこと、さらに、賛助会員、寄附者への働きかけによって財源の確保を実現したことを報告した。</p> <p>慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>・審議事項 2 令和 3 年度計算書類等承認の件 専務理事から、令和 3 年度計算書類等を詳細に説明。仲田監事から監査報告及び所感を得る。</p> <p>慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>・審議事項 3 役員等候補者選出委員会を踏まえての評議員・理事選任の件事務局から、5 月 23 日に「第 4 回役員等候補者選出委員会」が開催され、評議員 6 名の辞任に伴う後任評議員 6 名、理事 14 名の任期満了に伴う後任理事（再任を含む）14 名の候補者について審議され、議決の結果、評議員 6 名、理事 14 名のそれぞれについて、議決参加委員の全会一致をもって、評議員会に改選役員等候補として提案することになった旨を報告。</p> <p>慎重審議の結果、役員等候補者選出委員会による判定どおり、全員異議なく承認した。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 第 60 回電気科学技術講演会の開催について 専務理事から、第 60 回電気科学技術講演会を、当法人と東京大学大学院工学系研究科 電気系工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究 アライアンス (APET) との共催により、8 月 10 日 (水) に実施することになった旨を報告。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が今年度も続いていることから、ハイブリッド形式の開催を検討したが、会場が東京大学の構内であり、一般社会人も参加 (聴講) することから、リスクを避け、対面なしの全面オンラインで開催することになったことが説明された。</p> <p>決定事項を以下に記す。</p> <p>[第 60 回電気科学技術講演会] 日時：令和 4 年 8 月 10 日 (水) 14:30~17:00 会場：オンライン開催 テーマ：交通・運輸分野におけるカーボンニュートラル ー水素・燃料電池の活用ー 講演者：川村 竜児 氏 (国土交通省) 斗ヶ沢 秀一 氏 (株式会社 本田技術研究所) 飯田 隆幸 氏 (東日本旅客鉄道株式会社)</p>
令 4. 6. 22	理事会 (第 2 回)	学士会館	<p>令和 4 年度第 2 回 (臨時) 理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 12 名 (日高邦彦氏、坪井 裕氏、横山明彦氏、加藤 修氏、衣川裕司氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、平栗健二氏、松井利行氏、丸山 茂氏、村上和夫氏) 欠席理事 2 名 (川上景一氏、古澤 宏氏) 出席監事 2 名 (仲田一元氏、八島恵子氏) 出席顧問 1 名 (早野敏美氏)</p> <p>本理事会において理事長が選任されることに鑑み、横山理事に仮議長を務めて頂く。横山理事が仮議長席に着き、本理事会の議決は定足数 (理事の過半数) を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 4 年度第 1 回</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>理事会（令和4年6月7日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議事項1 代表理事（会長）、代表理事（理事長）、副会長、業務執行理事（専務理事）選任の件</li> </ul> <p>村上和夫理事から、代表理事（会長）に日高邦彦氏、代表理事（理事長）に横山明彦氏、副会長に坪井裕氏、業務執行理事（専務理事）に村上和夫氏をそれぞれ推薦する旨の提案があった。</p> <p>この提案を諮ったところ、全員異議なく承認した。</p> <p>横山理事が満場一致で理事長に選任されたことに伴い、横山理事長が議長席に着く。以降、会議は横山議長のもとで進行した。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 評議員、理事選任の件</p> <p>専務理事から、令和4年度定時評議員会において、評議員6名の辞任に伴う後任評議員6名、理事14名の任期満了に伴う後任理事（再任を含む）14名の候補者について、役員等候補者選出委員会による判定どおり、全員異議なく承認した旨を報告。</p> <p>ii) 第60回電気科学技術講演会 開催概要について</p> <p>専務理事から、令和3年度第3回理事会（令和4年3月9日開催）での承認を受け、第60回電気科学技術講演会を、当法人と東京大学工学系研究科電気系工学専攻先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス（APET）との共催で、8月10日に実施することになった旨を報告。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が今年度も続いていること、会場が東京大学の構内であり、一般社会人も参加（聴講）することから、リスクを避け、対面なしの全面オンラインで開催することになった旨が説明された。</p>
令4.7.7	分類部会	学士会館	<p>第70回電気科学技術奨励賞応募作分類部会を開催。</p> <p>出席者：分類部会委員4名中、出席委員3名（磯 敦夫氏、上間功也氏、菅弘史郎氏）</p> <p>他に、代表理事（会長）・日高邦彦氏、代表理事（理事長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。</p> <p>欠席委員1名（平栗健二氏）</p> <p>議事：第70回電気科学技術奨励賞応募作の分類分けについて</p> <p>菅弘史郎氏が座長席につき、第70回（令和4年度）電気科学技術奨励賞の応募作（受賞候補）38件（104名）の審査5分野（電力・エネルギー関係、産業・交通関係、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係、情報・通信関係、教育関係）への分類分けについて審議した。</p> <p>受賞候補による希望分野、及び応募作の内容に基づき、応募作の審査分野を、それぞれ、電力・エネルギー関係9件、産業・交通関係12件、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係4件、情報・通信関係9件、教育関係4件とすることで委員の意見が一致し、7月14日に開催される第1回審査委員会に提案することになった。</p>

<p>令 4. 7. 14</p>	<p>顕彰 (第70回 奨励賞第 1回審査 委員会)</p>	<p>学士会館</p>	<p>第70回電気科学技術奨励賞第1回審査委員会を開催。 出席者：日高邦彦審査委員長、横山明彦審査副委員長、及び、審査委員 20名中、出席委員 14名（代理出席含む）。 欠席委員 6名。 7月7日開催の分類部会による提案のとおり、応募作 38 件の審査分野を、電力・エネルギー関係 9 件、産業・交通関係 12 件、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係 4 件、情報・通信関係 9 件、教育関係 4 件とすることが承認され、速やかに審査を開始することを決定した。 審査委員 20 名（委員長、副委員長を除く）を 5 分野に分け、各委員は、それぞれ担当分野の書類審査（基礎審査）を行い、審査結果（基礎審査表）を 8 月 31 日までに事務局に提出することになった。</p>
<p>令 4. 8. 10</p>	<p>講演会</p>	<p>オンライン形式</p>	<p>「第 60 回電気科学技術講演会」を開催。テーマは『交通・運輸分野におけるカーボンニュートラルー水素・燃料電池の活用ー』。 第 70 回電気科学技術講演会を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大のリスクが依然として続いていたため、感染症拡大防止の観点から、オンライン形式での開催となった。 [主催] 公益財団法人 電気科学技術奨励会／東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究 アライアンス (APET) (2 団体共催) [後援] 一般社団法人 電気学会、株式会社 オーム社 [講演内容] ○講演 1 「交通運輸分野におけるカーボンニュートラルに向けた取組み」 川村 竜児 氏（国土交通省 総合政策局 技術政策課 技術開発推進室長） ○講演 2 「Honda における燃料電池開発 ～カーボンニュートラル実現に向けた多用途展開への取り組み～」 斗ヶ沢 秀一 氏（株式会社 本田技術研究所 先進パワーユニット・エネルギー研究所 チーフエンジニア） ○講演 3 「水素ハイブリッド電車 FV-E991 系 (HYBARI) の開発」 飯田 隆幸 氏（東日本旅客鉄道株式会社 JR 東日本研究開発センター 環境技術研究所 主幹研究員） 講演では、3 名の講演者が、それぞれの専門の立場から、交通・運輸分野において、カーボンニュートラルを実現するための考え方や取組みについて、事例を交えながら紹介した。 国土交通省の川村竜児氏の講演では、カーボンニュートラルに関する政府の方針、この方針に沿った「第 5 期国土交通省技術基本計画」、グリーン社会に向けた「国土交通グリーンチャレンジ」、「運輸分野における水素・燃料電池等の利活用の拡大を目指した技術検討会」について詳しく解説して頂いた。 株式会社 本田技術研究所の斗ヶ沢秀一氏の講演では、自動車部門における水素エネルギー・燃料電池技術の開発動向を紹介して頂すた。特に、ホンダにおける燃料電池車 (FCV) の開発について、事例を交えながら詳しく解説して頂いた。 東日本旅客鉄道株式会社の飯田隆幸氏の講演では、鉄道部門における水素</p>

			<p>エネルギー・燃料電池技術の開発動向を紹介して頂いた、特に、現在開発中の水素ハイブリッド電車「HYBARI」については、実証実験の様子を含め、詳しく解説して頂いた。</p> <p>本講演会の参加者は275名で、各講演では、質疑も活発に行われ、交通・運輸分野におけるカーボンニュートラル、特に水素・燃料電池の利用に対する関心の高さを伺い知ることができた。</p>
令4.9.13	<p>顕彰 (第70回 奨励賞第 2回審査 委員会)</p>	学士会館	<p>第70回電気科学技術奨励賞第2回審査委員会を開催。</p> <p>出席者：日高邦彦審査委員長、横山明彦審査副委員長、及び、審査委員20名中、出席委員17名（代理出席含む）。</p> <p>欠席委員3名。</p> <p>[第一次審査（基礎審査）]</p> <p>出席委員（委員長、副委員長を除く）が、審査5分野（電力・エネルギー関係、産業・交通関係、家電・民生機器及びエレクトロニクス関係、情報・通信関係、教育関係）に分かれて第一次審査（基礎審査）を行った。各分野での議論の結果、電気科学技術奨励賞候補として、第二次審査に合計18件の受賞候補を推薦することになった。</p> <p>[第二次審査（総合審査）]</p> <p>第一次審査終了後、全審査委員による第二次審査（総合審査）に移った。議論の結果、18件（50名）の受賞を決定した。</p> <p>続いて、受賞作の中で最も高い評価を受けた1件を文部科学大臣賞に決定し、それに次ぐ評価を受けた1件を電気科学技術奨励会会長賞に決定した。</p> <p>決定にあたっては、評価の高い4つの候補について、出席委員全員による決選投票を、以下のルールに基づいて行った。</p> <p>(1) 1回の投票で過半数の得票を得た候補がない場合、得票数が最も少ない候補を除外して、再び、決選投票を行う。</p> <p>(3) (1)のプロセスを繰り返し、最後の決選投票で過半数の得票を得た候補を文部科学大臣賞、得票数の少ない方の候補を電気科学技術奨励会会長賞に決定する。</p> <p>決選投票を3回繰り返した結果、最終的に、文部科学大臣賞と電気科学技術奨励会会長賞を決定した。</p> <p>文部科学大臣賞には、パナソニックホールディングス株式会社、株式会社パナソニックシステムネットワークス開発研究所、京都大学の共同提出による応募作が選ばれ、電気科学技術奨励会会長賞には、日本電信電話株式会社による応募作が選出された。</p> <p>最後に、事務局より、贈呈式を11月25日に東京神田・学士会館において実施する予定である旨が述べられたが、前回に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要があるとあり、9月27日に開催される理事会で、贈呈式の開催形式、開催規模を決めること、詳細が決まり次第、審査委員にお知らせする旨が告げられた。</p>
令4.9.27	理事会 (第3回)	学士会館	<p>令和4年度第3回（臨時）理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数14名中、出席理事12名（日高邦彦氏、坪井裕氏、横山明彦氏、加藤修氏、川上景一氏、衣川裕司氏、寒川哲臣氏、高本学氏、古澤宏氏、松井利行氏、丸山茂氏、村上和夫氏）</p> <p>欠席理事2名（富岡義博氏、平栗健二氏）</p> <p>出席監事2名（仲田一元氏、八島恵子氏）</p>

		<p>出席顧問 1 名（早野敏美氏）</p> <p>理事会議長として横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 4 年度第 2 回（臨時）理事会（令和 4 年 6 月 22 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議事項 1 第 70 回電気科学技術奨励賞受賞者決定の承認の件       <p>令和 4 年度の第 70 回電気科学技術奨励賞の受賞者を、去る 9 月 13 日の同賞審査委員会で決定し、本理事会において諮ったところ、全員一致で承認した。</p> </li> <li>・ 審議事項 2 第 70 回電気科学技術奨励賞贈呈式の開催形式の件       <p>専務理事から、第 70 回電気科学技術奨励賞の贈呈式は、来たる 11 月 25 日 16 時 30 分より学士会館で開催の予定だが、今年は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮する必要があることが述べられた。そこで、本理事会にて、同賞贈呈式の開催日時、開催形式、開催規模等を議論して頂きたい旨が述べられた。</p> <p>議論の結果、第 70 回電気科学技術奨励賞の贈呈式は、出席（参加）人数を絞り、以下の開催形式、開催規模で開催することが決定、承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○受賞者、代表理事（会長、理事長）、理事・監事・顧問及び事務局が出席する。</li> <li>○受賞者に、電気科学技術奨励賞、文部科学大臣賞、電気科学技術奨励会会長賞を授与する。</li> <li>○文部科学大臣賞については、文部科学省の方に会場にお越し頂き、受賞者に直接、賞状の授与を行うことを検討していただく。また、奨励賞受賞者にご祝辞を頂くこともお願いする。</li> <li>○3 省庁（総務省、国土交通省、経済産業省資源エネルギー庁）に、贈呈式で代読させて頂くことを前提に、ご祝辞を頂くことをお願いする。</li> <li>○文部科学大臣賞受賞者に（贈呈式にご出席になることを前提として）、受賞作の内容のプレゼンをして頂く。</li> <li>○例年、贈呈式終了後に行っている祝賀パーティーは行わない。</li> <li>○贈呈式にご出席頂けない方々（受賞者のご家族等）にご覧頂けるよう、贈呈式の模様を簡易な形式でネットワーク配信を行う。</li> </ul> </li> <li>・ 審議事項 3 令和 5 年度以降の役員等候補者選出手続きについて       <p>議長より、当法人は、令和元年 6 月期より、「役員等候補者選出委員会」を設け、役員等の選任手続きに透明性を持たせるようにしたが、今年 1 月に、内閣府の担当官から、費用と手間のかかる役員等候補者選出委員会は開催しない方がよいとの指摘を受けたこと、これを受け、今年 6 月 7 日開催の「令和 4 年度第 1 回理事会」にて、役員等候補者選出委員会の廃止を議案として審議をした結果、継続審議となったことが述べられた。</p> <p>続いて、専務理事より、今回、内閣府からの指示と当法人の対応に齟齬がないことを確認し、改めて役員等候補者の選出手続きを明確にしたことが説明され、令和 5 年度以降の役員等候補者手続き案が示された。</p> <p>慎重審議の結果、役員等候補者手続き案に、以下の事項を加えてブラッシュアップすることを前提に、原案が承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冒頭で本手続きの目的、すなわち、定款第 13 条、第 26 条及び第 30 条の規定に基づき、役員等（評議員、理事・監事）を選任するにあたっての運用手順（運用細則）を定めたものであることを述べる。</li> <li>○役員等の選任対象候補者は、企業、法人からの推薦等に基づき、代表理事</li> </ul> </li> </ul>
--	--	---



			<p>(会長・理事長) が当法人に資すると判断した人材であり、この候補者を「役員等候補者」と呼ぶことを明確にする。</p> <p>・審議事項 4 臨時評議員会の招集の件 以下の臨時評議員会招集を承認。</p> <p>(1) 日時：令和 5 年 3 月 6 日(月) 14:30～15:30 (2) 場所：学士会館 202 号室 (東京都千代田区神田錦町 3-28) (3) 目的である事項等 i) 令和 5 年度以降の役員等候補者選出手続きについて</p> <p>[報告事項] i) 第 60 回電気科学技術講演会の報告 専務理事から、第 60 回電気科学技術講演会を 8 月 10 日、オンライン形式で開催したことを報告。テーマを「交通・運輸分野におけるカーボンニュートラルー水素・燃料電池の活用ー」とし、交通・運輸分野においてカーボンニュートラルを実現するための取組みを、特に水素・燃料電池の活用に焦点を当て、3 人の講演者に解説をして頂いたこと、及び、インターネットを通じて 275 名の参加者があり、各講演では質疑も活発に行われたことが報告された。 ii) 令和 4 年度後半～令和 5 年度の行事日程 専務理事から、令和 4 年度後半～令和 5 年度の行事日程について報告がなされた。</p>
令 4. 11. 25	<p>顕彰 (第 70 回 電気科学 技術奨励 賞贈呈 式)</p>	学士会館	<p>第 70 回電気科学技術奨励賞贈呈式を開催。 日時：令和 4 年 11 月 25 日 (金) 16:30～18:00 場所：学士会館 (東京都千代田区神田錦町 3-28) 出席者：第 70 回電気科学技術奨励賞受賞者 公益財団法人 電気科学技術奨励会 役員 (理事・監事) 文部科学省 研究振興局長 (代理・丸山智 文部科学省 研究振興局 振興企画課 奨励室長)</p> <p>式典の内容</p> <p>(1) 会長式辞 (2) 電気科学技術奨励賞委員会審査報告 (3) 電気科学技術奨励賞贈呈 (4) 文部科学大臣賞贈呈 (5) 電気科学技術奨励会会長賞贈呈 (6) 祝辞 (7) 受賞者総代答辞 (8) 文部科学大臣賞・内容紹介</p> <p>本奨励賞の贈呈式には例年、受賞者をはじめ、受賞者のご家族、及び多くのご来賓をご招待しているが、今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、ご出席者を絞った形での式典となった。</p> <p>ご出席頂けない方々への配慮として、贈呈式の模様を、インターネットを通じて簡易な形式で配信した。</p> <p>贈呈式は、16:30 より開始され、当法人の日高邦彦会長が式辞を述べ、さらに審査委員会委員長として審査結果の報告を行った。引き続き、受賞者全員に電気科学技術奨励賞の賞状と雷神像の記念楯、副賞 (研究助成金) の贈呈があり、さらに、文部科学大臣賞、電気科学技術奨励会会長賞の贈呈と進</p>

			<p>んだ。</p> <p>各賞の贈呈の後、文部科学省研究振興局長による祝辞（代読・丸山智 文部科学省 研究振興局 振興企画課 奨励室長）が披露された。さらに、3 省庁（総務省国際戦略局長、国土交通省大臣官房技術総括審議官、経済産業省資源エネルギー庁長官）より賜ったご祝辞を、司会者が代読した。</p> <p>その後、全受賞者を代表して、文部科学大臣賞受賞のパナソニック ホールディングス株式会社の谷博之氏が答辞を読み上げた。続いて、谷氏により大臣賞受賞作の内容が解説された。</p> <p>文部科学大臣賞受賞作の解説をもって、贈呈式は滞りなく終了した。</p> <p>なお、例年行っている贈呈式終了後の祝賀パーティーは、飲食を伴うことから行わなかった。</p>
令 5. 3. 6	臨時評議員会	学士会館	<p>臨時評議員会を開催。</p> <p>出席者：評議員 19 名中、出席評議員 13 名（石田 明氏、井出育夫氏、上間功也氏、大淵一央氏、荻田恭之氏、沖谷 彰氏、佐々木昭悟氏、佐藤 晃氏、篠原郁二氏、寺西裕之氏、向井 稔氏、横山清志氏、吉岡靖浩氏）</p> <p>他に、代表理事（会長）・日高邦彦氏、代表理事（理事長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。</p> <p>欠席評議員 6 名（太田光昭氏、福山満由美氏、松尾智弘氏、松本袈裟文氏、吉田 隆氏、三戸雅隆氏）</p> <p>議長に上間功也氏を選出する。本評議員会の議決は定足数（評議員の過半数）を満たしていることを確認した後、議事録署名人として、井出育夫氏、荻田恭之氏を指名した。</p> <p>議事に先立ち、令和 4 年度定時評議員会議事録（令和 4 年 6 月 22 日開催）を確認した。</p> <p>〔議事〕</p> <p>審議事項 1 令和 5 年度以降の役員等候補者選出手続きについて</p> <p>理事長より、当法人は、令和元年 6 月期より、「役員等候補者選出委員会」を設け、役員等候補者の選任手続きに透明性を持たせるようにした。しかし、昨年 1 月に、内閣府の担当官から、費用と手間のかかる役員等候補者選出委員会は開催しない方がよいとの指摘を受けたことにより、今年度の第 1 回理事会、及び第 3 回（臨時）理事会において、役員等候補者選出委員会の廃止と、これに代わる役員等候補者選出手続きについて審議・承認されたことが説明された。</p> <p>これを受け、本評議員会において、同議案（役員等候補者選出委員会の廃止と役員等候補者選出手続きの承認）について決議をお願いする旨が述べられ、令和 5 年度以降の役員等候補者手続き案が示された。</p> <p>慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>〔報告事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 70 回電気科学技術奨励賞贈呈式の報告</li> </ul> <p>専務理事から、第 70 回電気科学技術奨励賞の贈呈式を、令和 4 年 11 月 25 日に開催したことを報告。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、受賞者と当法人役員、並びに文部科学省からのご来賓のみによる式典とし、ご出席頂けない方々への配慮として、贈呈式の模様を、インターネットを通じて簡易な形式で配信したこ</p>

			とを報告。
令 5. 3. 6	理事会 (第 4 回)	学士会館	<p>令和 4 年度第 4 回理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 12 名（日高邦彦氏、横山明彦氏、加藤 修氏、川上景一氏、衣川裕司氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、平栗健二氏、松井利行氏、丸山 茂氏、村上和夫氏） 欠席理事 2 名（坪井 裕氏、古澤 宏氏） 出席監事 2 名（仲田一元氏、八島恵子氏）</p> <p>理事会議長として、横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和 4 年度第 3 回（臨時）理事会（令和 4 年 9 月 27 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議事項 1 令和 5 年度事業計画書（案）の件 専務理事から、令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）の事業計画として、主な事業（1. 第 71 回電気科学技術奨励賞の贈呈、2. 第 61 回電気科学技術講演会の開催、3. 媒体の特長を活かした情報発信、4. 賛助会員・寄附者の維持・拡大による財源の安定確保）について各項目別に説明し審議に入る。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</li> <li>・審議事項 2 令和 5 年度収支予算書（案）の件 専務理事から、事業計画に基づく令和 5 年度収支予算書（案）について、経常収益、経常費用等を勘定科目ごとに詳細に説明する。厳しい経済情勢の中、賛助金・寄附金を主な財源とする当法人が経常収益を維持するのは容易ではないが、賛助会員・寄附者の維持・拡大による財源の安定確保に努めることで、令和 4 年度と同様、総額 1,600 万円規模の予算を組んだことを説明する。仲田監事から、同収支予算書（案）の所感を賜った後、審議に入る。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</li> <li>・審議事項 3 第 71 回電気科学技術奨励賞推薦候補募集の件 専務理事から、同審議事項の概要を説明する。推薦候補募集の書類を全国の電力会社、電機関連会社、各種団体、研究施設、大学・工業高专等へ送付して周知を図るほか、Web サイトを通じての告知、応募の促進に有効と思われる対象者に向けた電子メール等による情報発信を行うことを説明。 さらに、審査委員会の構成および奨励賞関連の行事日程を説明し審議に入る。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</li> <li>・審議事項 4 第 61 回電気科学技術講演会の開催の件 専務理事から、第 61 回電気科学技術講演会を、以下の内容で実施することが提案された。</li> </ul> <p>[提案内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和 3 年度（第 59 回）、及び令和 4 年度（第 60 回）の電気科学技術講演会に引き続き、東京大学工学系研究科電気系工学専攻 先端電力エネルギー・環境技術教育研究アライアンス（APET）との共催で実施する。</li> <li>○夏期（7～8 月）の開催で検討する。</li> <li>○オンライン形式での開催を基本とし、社会状況及び当法人のリソースを加味して検討する。</li> <li>○以下のテーマで検討する。 「蓄エネルギー技術の開発動向（最新動向）」、「蓄電技術の開発動向（最</li> </ul>

			<p>新動向)」「電力貯蔵技術の開発動向(最新動向)」等</p> <p>○講師(講演者)は、最大3名で検討する(官庁・メーカー・各種法人等、組織のバランスに配慮する)。</p> <p>○講演時間は、最大150分(2時間半)とする。</p> <p>○奨励会の予算から、1人当たり20,000~30,000円の謝礼を支払う。 慎重審議の結果、原案が承認された。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 令和5年度以降の役員等候補者選出手続きについて 専務理事から、令和4年度臨時評議員会(令和5年3月6日開催)において、</p> <p>(1) 役員等候補者選出委員会規程を廃止すること</p> <p>(2) 役員等候補者選出委員会規程に代わって、新たに、役員等候補者の選出手続きを定めること</p> <p>が審議・承認されたことを報告。 これにより、令和5年度以降の役員等候補者の選出は、新たに定められた「役員等候補者選出手続き」に則って行われることが述べられた。</p> <p>ii) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告 専務理事から、令和4年6月~令和5年2月の執行状況について報告。 併せて、代表理事、業務執行理事、事務局長の意見交換が随時行われていることを報告した。</p>
--	--	--	--

以 上